

「教会学校における牧会 (その二)」

吉田真司

教会学校の特色は小グループによる交わりの形成にあります。大きい集団では得られない個人と個人との関わりがその特徴です。「キリストのからだ」(1コリント 12:27) として呼び集められた一人ひとりが、その「からだ」なる教会の有機的な関係(お互いに必要とされていること)を実感しうる場、それが教会学校の小グループにおいて実現されるものであって欲しいと思います。またその関係を通して、まことの牧会者であるイエス・キリストに出会って欲しいと願います。

牧会の際に必要な心得として「聴く」「戒める」「通信する」「祈る」「教会に結ぶ」があります。①聴く・・・出会いの基本は「聴く」ことから始まります。教会学校は、相手の言葉を良く聴き、相手の状況を把握し、受け止め合う場所でありましょう。②戒める・・・「戒め」とは、神の言に基づいて、正しい方向を指し示すことです。決して相互に批判すること、知識でやり込めることではありません。愛ある戒め(励まし)、それがイエス・キリストの戒めです。③通信する・・・直接的な訪問や手紙による「通信」は「覚えられている」実感となる結びつきの行為です。使徒パウロも多くの書簡をもって相手とつながり、そして牧会に励みました。④祈る・・・牧会上、何よりも大切なのは「祈り」です。祈りは〈牧会の源〉とも言えます。祈りなくして行動なし、祈りによって対象者のことを深く意識し働きかけを導かれます。⑤教会に結ぶ・・・教会学校における牧会は、その個人的な結びつき、あるいは小グループへの結びつきに留まらず、教会への結びつきを常に意識して行います。そして何より「イエス・キリスト」への結びつき、これが教会学校の至上の目的です。

リーダーは、毎週のクラスの開始前に祈り会をもって臨んでいます。そして皆さまがお出でになるのに備えて待っています。クラス時間は限られていますので、どうぞ開始時間に間に合うようにお出かけください。そしてそのことが続く礼拝への落ち着いた態度へとつながります。教会学校から礼拝へ、どうぞお越し下さい。

教会の定例集会

主日礼拝	日曜日	午前 9:00~10:00 (相模原礼拝)
		午前10:40~12:00 (会堂礼拝)
教会学校	日曜日	午前 9:30~10:20
(嬰兒、幼児、小学生、中高生、)		青年、成人、英語、聖書入門の各クラス)
祈り会	水曜日	午後 7:30~9:00
金曜集会	金曜日	午前10:30~12:00
家庭集会 (相模原)	第二火曜日	午前10:00~12:00 (竹村家)
(すずかけ台)	第三木曜日	午後 1:30~3:00 (長谷川家)

日本バプテスト相模中央キリスト教会

〒242-0007 大和市中央林間4-24-6 TEL&FAX046(274)3708

牧師：吉田真司 音楽・子どもユース担当主事：江原美歌子 協力牧師：斎藤剛毅

<http://www.sccc.sakura.ne.jp>